

## 事業概略書

事業名	精神科病院における認知症入院患者の退院支援及び地域連携に関し、被災地支援につながるモデル連携パスの作成に関する調査について
事業目的	認知症専門病棟に入院の目的は BPSD 改善、中核症状の悪化の対応、薬剤の調整、一般科で対応困難な身体合併症対策などがあるが、その後の認知症患者の生活の質を考えると、入院目的となった症状や問題が解消した後、速やかに在宅や介護施設に移行することが望ましいと思われる。しかし、いわゆる「受け皿」不足や病院と地域、施設との連携の脆弱さにより必ずしも充分には行われなかった。このため、精神科病院、介護施設、事業所等が連携をスムーズに行える為に実践的な地域連携パスの作成が必要と考える。また、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では 30 万人を超える避難所生活者が発生し、認知症患者はその環境の変化により症状を悪化させ、入院が必要となる事例も多く報告されている。このため、被災地での精神科医療機関などの医療資源や介護資源の現状を考慮した地域連携体制が構築できるようなモデルとなる地域連携パスの作成を行う。
事業概要	<p>1．退院支援及び地域連携パスの作成と試行 退院支援と地域連携のモデルパスを作成し、10月1日～12月31日の期間で企画委員、研究協力者が開設者ないし管理者を勤める9病院で試行し、結果をもとに両パスの作成をした。</p> <p>2．被災地支援に繋がる地域連携パスの作成 被災地での精神科医療機関などの医療資源や介護資源の現状を考慮した地域連携体制が構築できるようなモデルとなる地域連携パスを作成し、仙台市と盛岡市で説明会と意見交換会を行い、大災害の時に必要となる、連携パスのあり方と必要な情報についての意見交換を行った。</p>
事業実施結果及び効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院の認知症入院患者の退院支援・地域連携クリティカルパス（精神科病院と介護事業者等が連携して作成する診療計画）モデル連携パス作成支援ソフトの作成。</li> <li>・モデルパス作成支援説明会を仙台と盛岡の2箇所で開催し、被災地で必要な地域連携パスを作成する。</li> </ul>
事業主体	<p>〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14 公益社団法人 日本精神科病院協会 TEL: 03-5232-3311 E-MAIL: office@nisseikyo.or.jp</p>